

No.313  
1997年  
8月

# OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
113 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル3階  
電話(03)3815-3351代 Fax(03)3815-3352

## ●日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞(ソフトウェア部門)第13回候補ご推薦のお願い

いまやORの研究・教育・実施においてはソフトウェアが不可欠のツールとなっています。しかも、年々多数の新しいすぐれたソフトウェアが作られています。これらは、はたして、広く有効に使われて、世の役に立っているのでしょうか。

本学会員の声として、ORに関連するソフトウェアを紹介し、評価し、会員に知らせてほしい、という要望がしばしば寄せられております。

学会では、このような情勢をふまえ、1985年度から優秀なソフトウェアの顕彰を実施いたしております。つきましては、今年度も下記の要領で、広く学会員から募集することになりましたので、奮ってご応募ください。

なお、本賞を、事例研究奨励賞の中のソフトウェア部門といたしましたのは、過去の事例研究奨励賞においてコンピュータ・システムの開発に対する授賞を行った実績も参考として決定したものであります。

### 〈募集要領〉

1. 賞の名称：日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞(ソフトウェア部門)
2. 選考の対象：ORの教育・実務において広くOR学会員に役立つもので、次のような対象を想定しております。
  - (1)教育用ソフトウェア  
大学・企業・その他教育機関においてOR教育研修用のソフトウェア
  - (2)OR技術の先端的ソフトウェア
3. 応募資格：本学会の会員(個人に限らずグループや企業も対象となります)
4. 応募手続：(1)提出書類
  - ①正会員による推薦状 1部  
推薦状は学会所定の用紙とします。
  - ②ソフトウェア機能説明書(A4判3枚以内) 5部  
機能説明書は学会所定の用紙とします。
  - ③その他参考資料  
Input/Outputの例、解説書等の参考資料があれば、

各1部添付してください。ただし、提出の義務はありません。

(2)提出先：日本OR学会表彰委員会

(3)応募締切：平成9年11月28日(金) 必着

5. 表彰：受賞者には、OR学会総会その他適当な機会に賞牌を授与するとともに、受賞ソフトウェアの要約をOR誌に掲載して表彰します。
6. その他：(1)応募するソフトウェアは、広くOR学会員に役立つことが必要な条件であるため、一般学会員からの利用の要請を受けたときは、その便に応じることとしてください。ただし、学会は、利用について仲介の労をとることはいたしませんから、当事者間で直接話し合ってください。  
(2)受賞にもれたソフトウェアについても、適当なものについては、主な機能等の紹介をOR誌に行うこととします。

## ●第38回シンポジウム「コミュニケーション・ルネサンスとOR—バーチャルリアリティと社会—」

日時：9月9日(火) 13:00~17:00

場所：東京経済大学

実行委員長：川島幸之助(NTT・AT)

問合せ先：社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会 事務局 Tel.03(3815)3351

### プログラム：

1. 13:00-13:05 趣旨説明
2. 13:05-13:50 「虚構と現実について」  
李 恩沃(デジタルイメージ研究所)
3. 13:50-14:35 「最先端のバーチャルリアリティ技術」中嶋正之(東京工業大学)
4. 14:35-15:20 「バーチャルリアリティへの社会学的考察」川崎賢一(駒沢大学)
- 15:20-15:30 休憩
5. 15:30-17:00 パネル討論  
コーディネータ：齋藤嘉博(武蔵野美術大学)  
パネラー：上記講演者

協賛：電子情報通信学会、情報処理学会、映像情報メディア学会、電気学会、日本機械学会、経営情報学会、日本社会情報学会

参加費：正・賛助会員3,000円、学生会員1,000円、非

会員5,000円(協賛学会員は正会員に同じ)  
当日受付にてお支払いください。

### ●平成9年度秋季研究発表会

日 程：9月10日(水)・11日(木) 研究発表会  
9月12日(金) 見学会

場 所：東京経済大学  
(東京都国分寺市南町1-7-34)

特別テーマ：「～21世紀の社会変革を担う～

コミュニケーション・ルネサンスとOR」

近年の情報通信技術の発達とサービスの展開は画期的であり、「コミュニケーション・ルネサンス」と呼ぶにふさわしいものです。このような変化は社会組織の変質をもたらし、さらには我々自身の行動規範をも変化させる可能性を含んでいます。たとえば、企業活動の分野で現在BPRやバーチャルコーポレーションが話題になるのも、組織変質の兆しと見做せます。今年には学会創立40周年に当たりますので、今回の研究発表会を21世紀のORと社会変革の将来展望を議論・考察する機会と位置づけて特別テーマを設定しました。そのテーマにふさわしい充実した会議になるように、多くの方々のご参加を期待しております。

実行委員長：棚橋啓世(東京経済大学)

実行副委員長：川島幸之助(NTT・AT)

参加費：正・賛助会員 6,000円, 学生会員 2,000円,  
非会員 10,000円

登壇料：非会員のみ 2,000円/件(本学会の許可が必要)

懇親会：9月10日(水)18:15より 参加費 6,000円

発表形式：(A)一般発表, (B)特別セッション発表,  
(C)ソフトウェア発表(予定)

☆今回ペーパーフェアはありません。

特別講演：一般公開・入場無料

9月10日(水)

青木利晴(NTT代表取締役副社長)「マルチメディア社会実現のための研究開発の展望」

9月11日(木)

田村紀雄(東京経済大学教授, 前コミュニケーション学部長)

「コミュニケーションと日本社会の構造改革」

40周年記念講演：学会創立40周年記念懸賞論文の入賞者による講演。

特別セッション：

テーマとオーガナイザ

「交通・流通へのコミュニケーションの影響(仮題)」

野末 尚次(鉄道総合技術研究所)

「社会情報システムとOR/MS」

太田 敏澄(電気通信大学)

「オープンネットワークの活用」

勅使河原 可海(創価大学)

「マーケティング・モデルの現状と課題」

守口 剛(立教大学)

「業務改革とコミュニケーション」

梅沢 豊(東京大学)

「エネルギー産業におけるネットワークと業務効率化」

長谷川 淳(北海道大学)

問合せ先：日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局  
Tel. 03(3815)3351

(本大会に関するホームページを<http://www.al.ei.tuat.ac.jp/or>に開設しましたのでご覧ください。)

見学会

日 時：9月12日(金)

10:00 NTT武蔵野研究開発センター 集合

14:50 同センター 解散

見学場所：NTT武蔵野研究開発センター  
(武蔵野市緑町3-9-11)

NTTにおける最先端のマルチメディア技術・ネットワーク技術を医療分野・教育分野でのアプリケーション例も含めてご見学いただきます。内容は本研究発表会ホームページをご覧ください。

参加費：無料(昼食各自)

定 員：40名(定員になり次第締め切ります)

申込方法：8月22日(金)までにE-mailまたはFaxにてお申し込みください。集合場所詳細等については折り返しご連絡いたします。

申込・問合せ先：E-mail: or97@hashi.tnl.ntt.co.jp  
Fax: 0422(59)3290

●日本OR学会「企業事例交流会」

日 時：9月11日(木) 9:30~17:10

場 所：東京経済大学6号館7F 大会議室

参加費：正・賛助会員6,000円, 学生会員2,000円, 非会員10,000円

同時開催の研究発表会参加登録者は無料で企業事例交流会に参加できます。また、企業事例交流会参加者も研究発表会に無料で参加できます。

●平成10年度春季研究発表会

日 程：平成10年5月27日(水)～28日(木)  
 場 所：仙台市青年文化センター  
 実行委員長：松田 泰(東北支部長, 東北電力 顧問)  
 実行副委員長：石川明彦(岩手大学) 山本 保(東北  
 コンピュータサービス) 黒井光男(東北電力)

●平成10年度秋季研究発表会

日 程：未定  
 場 所：日本大学  
 実行委員長：高橋磐郎(日本大学生産工学部)  
 実行副委員長：大沢慶吉(日本大学生産工学部)

●第9回 RAMP シンポジウム

主 催：数理計画法特設研究部会 (RAMP)  
 日 時：9月25日(木), 26日(金)  
 場 所：広島大学 経済学部  
 〒739 東広島市鏡山1丁目2番1号  
 ・山陽線「西条駅」バスのりばより, 「広島大学」行き  
 バスを利用し, 「中央口」で下車(約15分), 徒歩2  
 分(時計台のある建物). 新幹線をご利用の方は, 「東  
 広島駅」からタクシー(約15分).  
 ・第9回 RAMP シンポジウムのホームページ  
 Web: [http://www.ipc.hiroshima-u.ac.jp/~  
 joxu/](http://www.ipc.hiroshima-u.ac.jp/~joxu/)をご覧ください.

参加要領：当日, 会場受付にて下記参加費を添えてお  
 申し込みください.  
 ・シンポジウム(論文集を含む)：一般5,000円, 学生  
 2,000円  
 ・懇親会(25日夜)：5,000円  
 ・銀行振込をご希望の方は, 9月12日(金)までに,  
 第一勧業銀行広島支店(店番号：636), 普通口座(口  
 座番号：1838465), 「第9回 RAMP シンポジウム実  
 行委員会代表平木秀作」宛にご送金ください.

宿 泊：開催場所は, 広島駅から約50分を要します.  
 なお, 東広島市内に宿泊を希望する方は,  
 実行委員会事務局にお問い合わせください.  
 ・東広島市の宿泊施設をお知りになりたい方は, 第9  
 回 RAMP シンポジウムのホームページ Web:  
<http://www.ipc.hiroshima-u.ac.jp/~joxu/>を  
 ご覧ください. E-mailでも案内しております.

問合せ先：第9回 RAMP シンポジウム実行委員会  
 事務局  
 〒739 東広島市鏡山1丁目2番1号

広島大学経済学部 平木秀作, 渡辺展男, 徐 祝淇  
 Tel. (0824)24-7266, 7289, 7293 Fax. (0824)24-  
 7212

E-mail: hiraki@ipc.hiroshima-u.ac.jp. (平木)  
 E-mail: norio@ipc.hiroshima-u.ac.jp. (渡辺)  
 E-mail: joxu@ipc.hiroshima-u.ac.jp. (徐)  
 プログラムは564頁をご参照ください.

●公募案内

・筑波大学大学院経営・政策科学研究科(東京地区)  
 募集人員：経営システム科学専攻 教授または助教授  
 計2名  
 専門分野：(a)応用確率論  
 (b)システム数理(助教授のみ)

応募資格：博士号取得者, 助教授の場合は40歳以下  
 着任時期：決定後なるべく早い時期  
 応募締切：8月31日(日)

提出書類：履歴書(ワープロ可), 研究業績リスト, 主  
 要論文等(5編)別刷り, 他詳細は問合せのこと  
 問合せ先：〒112 文京区大塚3-29-1

筑波大学大学院経営・政策科学研究科経営システム  
 科学専攻

(a)鈴木久敏  
 Tel. 03-3942-6883, Fax. 03-3942-6829  
 E-mail: suzuki@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp

(b)吉澤正  
 Tel. 03-3942-6871, Fax. 03-3942-6829  
 E-mail: yosizawa@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp

・滋賀大学経済学部情報管理学科「経営情報」講座  
 採用予定職：教授または助教授, 講師, 助手  
 担当分野：経営情報論(コンピュータの実習を含む)

応募資格：  
 経営系の大学院修士課程修了者もしくは博士課程修  
 了者(博士課程在籍中の者も可), またはこれと同等以  
 上の能力・業績を有すると認められる者

採用時期：平成10年4月1日  
 応募締切：平成9年9月5日(金) 必着  
 提出書類：履歴書, 業績リスト, 主要業績, 研究歴の  
 概要(800字以内)

問合せ先：〒522 彦根市馬場一丁目1-1  
 滋賀大学経済学部学部長 門脇延行  
 Tel. 0749(27)1030

・東京理科大学工学部第一部 経営工学科

**募集人員**：教授，助教授または講師 2名  
**担当科目**：経営工学関連科目（経営計画，質管理工学，  
 数理工学，情報工学に関連する分野）

**応募資格**：45歳くらいまでの博士の学位を有する方，  
 経営工学の発展に寄与する意欲のある方。

**採用時期**：平成10年4月1日

**応募締切**：平成9年10月31日

**提出書類**：履歴書，業績リスト，主要論文別刷

なお，経営工学の将来に対するビジョン，意欲的な  
 メッセージ等がありましたら，併せてご提出ください。

**問合せ先**：〒162 新宿区神楽坂1-3

東京理科大学工学部第一部経営工学科

教授 山口 俊和

Tel. 03(3260)4271 (内線3340) Fax. 03(3235)6479

E-mail: yama@ms.kagu.sut.ac.jp

・松山大学経営学部

**募集人員**：専任講師以上（1名）

**担当科目**：「情報処理論」「コンピュータ通論」

**専門分野**：ソフトウェア工学，情報科学，ネットワー  
 ク関係（特に文系のコンピュータ教育に関心のある  
 方が望ましい）

**応募資格**：博士後期課程，在学1年を経過した者，ま  
 たはこれと同等もしくはそれ以上の研究歴を有する  
 者で採用時35歳までの方。

**採用時期**：平成10年4月1日

**応募締切**：平成9年9月30日（火）必着。

**提出書類**：履歴書，研究業績（著書，論文，別刷り  
 可），健康診断書。

**問合せ及び送付先**：〒790-78 松山市文京町4-2

松山大学 経営学部経営学部長 石田 徳孝

Tel.089(925)7111 Fax.089(922)6064

・統計数理研究所（統計計算開発センター）

**募集人員**：教授 1名

**研究分野**：統計科学的情報処理法の研究において実績  
 を有し，統計計算システムに関する研究・開発およ  
 び企画・運営の能力を有する人材を求める。

**応募資格**：

①博士の学位（外国において授与されたこれに相当す  
 る学位を含む）を有する者または研究上の業績がこ  
 れに準ずる者

②大学共同利用機関，または大学において助教授，あ  
 るいはこれに準ずる職員としての経歴があり，研究  
 教育上の業績があると認められる者

③研究所，試験所，調査所等に10年以上在職し，研究  
 上の業績があると認められる者

**採用時期**：平成10年2月1日以降

**応募締切**：平成9年9月30日（火）必着。

**提出書類**：履歴書，研究業績リスト，研究計画書他

**問合せ先**：〒106 港区南麻布4丁目6番7号

統計数理研究所 管理部庶務課人事係

(Tel.03(5421)8707 Fax.03(3443)3552

・静岡大学工学部システム工学科

**募集人員**：助手 1名

**応募資格**：

①計算機工学または情報工学を専攻し，かつ専門とし  
 ていること。

②博士の学位を有しているか，取得見込みであること。

③unix とプログラミング言語に精通し，ワークステ  
 ーションを使った情報・システム実験を担当できる  
 こと。

④年齢は35才以下，33才以下が望ましい。

**着任時期**：平成10年4月1日，またはそれ以前の可能  
 な時期

**応募締切**：平成9年9月30日（火）必着。

**提出書類**：履歴書，業績書，主要論文他

**問合せ先**：〒432 浜松市城北3-5-1

静岡大学工学部システム工学科学科長 渥美邦夫

Tel./Fax.053(478)1205（直通）

E-mail:atsumi@sys.eng.shizuoka.ac.jp

システム工学科ホームページ（URL）http://www.

sys.eng.shizuoka.ac.jp/

・旭川大学

**A 募集人員**：教授，助教授もしくは講師 1名

**専攻分野**：近代経済学（ミクロ経済学が望ましい）

**担当科目**：経済原論，経済学，セミナー等

**B 募集人員**：教授，助教授もしくは講師 1名

**専攻分野**：計量経済学

**担当科目**：計量経済学，コンピュータ概論，プログラ  
 ミング演習，セミナー等

**AおよびB応募資格**：

①大学院博士課程修了者（修了予定者を含む）または

大学院博士課程単位修得満期退学者  
 ②大学院修士課程（博士課程の前期課程を含む）修了者（または修了予定者）  
 ③上記①または②に準ずると認められる者  
 採用予定日：平成10年4月1日

応募締切：平成9年9月15日（月）（当日必着）  
 提出書類：履歴書，研究業績目録他  
 問合せ先：旭川大学 事務局庶務課  
 Tel.0166(48)3121 Fax.0166(48)8718  
 E-mail: yasudan@asahikawa-u.ac.jp

●第9回 RAMP シンポジウム・プログラム：9月25日（木）

| 時間    | 題 目  | 講 演 者 (所 属)            |
|-------|--|------------------------|
| 10:00 | 開会の挨拶  |                        |
| 10:10 | セッション1 汎用組合せアルゴリズム   | オーガナイザー：茨木 俊秀（京都大学）    |
| }     | 1-1「BDD（二分決定グラフ）による組合せアルゴリズム」                                      | 仙波 一郎（茨城大学）            |
| 11:40 | 1-2「タブー探索による汎用 CSP アルゴリズム」   | 野々部宏司，茨木 俊秀（京都大学）      |
| 11:55 | 1-3「ロジスティクスにおける最適化の応用」   | 久保 幹雄（東京商船大学）          |
| }     | 1-4「実務的見地からの組合せ最適化手法，IP かヒューリスティクスか」                               |                        |
| 13:25 | 伊倉 義郎（SAITECH, Inc.），Panjing Gong, Robert Vanderbei（SAITECH, Inc.） |                        |
| 14:20 | セッション2 数理計画の応用   | オーガナイザー：木瀬 洋（京都工芸繊維大学） |
| }     | 2-1「配送計画問題とシュミレーテッドアーニーリング」  | 五十嵐治一（近畿大学）            |
| 15:50 | 2-2「コージェネレーション・システムの設計・運用計画における最適化とその効果」                           | 伊東 弘一（大阪府立大学）          |
| 16:10 | 2-3「生産スケジュール修正における数理計画モデルの利用」                                      | 西岡 靖之（東京理科大学）          |
| }     |  |                        |
| 17:40 | 2-4「ディスパッチング・ルールとスケジューリング」   | 石井 信明（日揮㈱）             |
| 18:00 | 懇 親 会  |                        |

9月26日（金）

|       |  |                      |
|-------|--|----------------------|
| 9:00  | セッション3 DEA   | オーガナイザー：刀根 薫（埼玉大学）   |
| }     | 3-1「CCR モデル-LP 定式化のゲーム論ならびに多変量解析的解釈」   | 篠原 正明（NTT ㈱）         |
| 10:30 | 3-2「Algorithmic Features」  | 末吉 俊幸（東京理科大学）        |
| 10:45 | 3-3「 $L_1$ Metric Time Series Analysis : Comparison Among Three Methodologies」 | 関谷 和之（静岡大学）          |
| }     |  | 末吉 俊幸（東京理科大学）        |
| 12:15 | 3-4「DEA による日米電気事業の生産効率性国際比較」   | 北村 美香，筒井 美樹（電力中央研究所） |
| 13:10 | セッション4 ファジィ数理計画  | オーガナイザー：坂和 正敏（広島大学）  |
| }     | 4-1「基準メンバーシップ関数をもつファジィ線形計画問題のロバストでソフトな最適化」                                     | 乾口 雅弘（大阪大学）          |
| 14:40 | 4-2「ファジィ概念の最適化への導入について」  | 谷野 哲三（大阪大学）          |
| 15:00 | 4-3「遺伝的アルゴリズムによる大規模多目的ファジィ0-1計画法」  | 石井 博昭（大阪大学）          |
| }     |  | 加藤 浩介，坂和 正敏（広島大学）    |
| 16:30 | 4-4「多重レベル計画問題に対するファジィ計画法」  | 坂和 正敏，西崎 一郎（広島大学）    |
|       | 閉会の挨拶  |                      |